



2024年10月15日

各 位

会社名 株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長CEO チャン バン ミン
(コード番号：4260 東証グロース)
問合わせ先 取締役CFO 平川 和真
TEL. 03-6222-9506

ダナン拠点の閉鎖、減損損失等の計上及び2024年9月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年10月15日開催の取締役会において、Hybrid Technologies Vietnam Co., Ltd. (以下、当社ベトナム子会社) が持つダナン拠点の閉鎖、それに伴う2024年9月期における減損損失等の計上、及び2023年11月14日に公表いたしました2024年9月期業績予想の修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. ダナン拠点の閉鎖

今回、当社グループのベトナム3拠点のうち、ダナン拠点を閉鎖する意思決定をいたしました。詳細は下記の通りですが、背景としてこれまでダナン拠点が抱えていた課題が徐々に顕在化したことがあり、将来における当社グループの安定した業務遂行やクライアントへの付加価値提供のためにはこのタイミングでダナン拠点の閉鎖を行い、既存2拠点（ホーチミン・ハノイ）にリソースを集中し、経営を効率化することが望ましいと判断したためです。

当社は、日本とベトナムを融合させたソフトウェア開発を軸とする『ハイブリッド型サービス』の提供事業を展開しております。本サービスにおいて、当社ベトナム子会社は、開発、実装業務の遂行を担っております。

その中で、ダナン拠点において従前より品質管理や人員管理、案件デリバリー面の課題を認識しておりました。これに対し当社及び当社ベトナム子会社は、品質管理部門の介入や、人員の入替等によって、継続的な是正を図ってまいりましたが、2024年9月期第4四半期にはこれらの課題が既存クライアントの一部撤退や縮小、開発内容の課題等を解消するために要する追加工数の発生、待機人材の増加等の形で顕在化しました。

これらの状況を踏まえ、現状のダナン拠点におけるマネジメント体制で、品質管理、サービスデリバリーの改善を目指すことよりも、複数の管理責任者が機能毎の管掌部門に配置され、安定的な運営を維持しているホーチミン、ハノイの2拠点に経営リソースを集中することが、今後の安定的な経営に資するという判断から、ダナン拠点の閉鎖を決議いたしました。

今回の意思決定により、ダナン拠点閉鎖のための特別損失及び既存クライアントの売上減少等の影響が一時的に生じることとなりますが、今後は、既存2拠点に開発案件や人材等を集約することで、より安定的な案件のデリバリーに努めてまいります。これにより、ダナン拠点で顕在化した課題の解消、利益率の改善、さらに経営リソースの最適化を実現することで、クライアントニーズにより的確に応える体制を構築し、売上・利益等は成長を継続する見込みです。

2. ダナン拠点の閉鎖に伴う減損損失及び事業構造改善関連費用の計上

当社は、ダナン拠点の閉鎖に伴い、同拠点に係る固定資産の減損損失7百万円、及び事業構造改善関連費用27百万円を計上いたしました。当社は、国際会計基準（IFRS）を適用しているため、減損損失及び事業構造改善関連費用はその他の費用となり、営業利益に影響します。

3. 通期連結業績予想の修正（2023年10月1日～2024年9月30日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A）	3,306	331	264	213	18円91銭
今回修正予想（B）	3,139	100	85	53	4円65銭
増減額（B－A）	△167	△231	△179	△160	-
増減率（％）	△5.1	△69.7	△67.9	△75.1	-
（参考）前期業績 （2023年9月期）	2,906	257	189	160	14円41銭

- （注） 1. 当社グループは国際会計基準（IFRS）に基づき連結財務諸表を作成しております。
2. IFRSに基づいた連結財務諸表の端数処理に合わせ、百万円未満を四捨五入して記載しております。

4. 通期連結業績予想修正の理由

当社は、2023年11月14日に2024年9月期の通期業績予想（以下、前回発表予想）の開示を行い、売上収益3,306百万円、営業利益331百万円、税引前利益264百万円、当期利益213百万円と予想し公表いたしました。

しかしながら、「1. ダナン拠点の閉鎖」に記載しているダナン拠点の状況悪化により、売上収益及び各段階利益が以下の通り減少しました。

（単位：百万円）

項目	売上収益	売上総利益	営業利益
ダナン拠点が管理していた既存案件の撤退や縮小	△379	△121	△121
ダナン拠点が管理していた開発案件のトラブルに対応する追加工数の発生や待機人材の増加	-	△65	△65
ダナン拠点閉鎖に伴う減損損失及び事業構造改善関連費用の計上	-	-	△34
合計	△379	△187	△221

売上収益面においては、ダナン拠点が管理していた既存案件の一部撤退や縮小によって、前回発表予想の売上収益に対し約379百万円の減少要因となりました。

利益面においては、売上収益の減少に伴う売上総利益の減少（第3四半期連結累計期間の売上総利益率実績32%で試算した場合、売上総利益に対して約121百万円の減少影響）に加えて、ダナン拠点が管理していた開発内容の課題等を解消するために要する追加工数の発生や、待機人材の増加により、売上総利益に対し約65百万円の減少影響が発生しました。

また、「2. ダナン拠点の閉鎖に伴う減損損失及び事業構造改善関連費用の計上」に記載の通り、減損損失7百万円、及び事業構造改善関連費用27百万円を計上したことにより、営業利益に対し34百万円の減少影響が発生しました。

さらに、2024年9月期には前回発表予想に織り込まれていなかったWur株式会社、ドコドア株式会社の2社の株式取得（子会社化）を実施いたしました。同2社を2024年9月期の連結業績に取り込んだことにより、売上収益、営業利益が増加する一方で、買収関連費用55百万円を計上したこととで、営業利益以下の各段階利益は一時的に低下いたしました。

以上の結果、通期の売上収益は3,139百万円（前期比8.0%増）、営業利益は100百万円（前期比61.0%減）、税引前利益は85百万円（前期比55.1%減）、当期利益は53百万円（前期比66.9%減）と予想いたしました。前回発表予想に対する増減率は、売上収益5.1%減、営業利益69.7%減、税引前利益67.9%減、当期利益75.1%減となりました。

【業績予想に関する注意事項】

本資料に記載されている2024年9月期業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因で異なる場合があります。